

平成 28 年度四国支部技術研究発表会の開催について

平成 28 年度四国支部技術研究発表会を下記により開催いたします。研究成果, 技術開発, 技術検討, 施工技術, 調査, 工事に関する報告など会員が発表をいたします。一般の聴講は無料ですのでご参加をお願いいたします。

1. 開催日 平成 28 年 5 月 28 日 [土] (9:00~17:00)

2. 場所 高知工科大学 (〒7782-8502 高知県香美市土佐山田町宮の口 185)

3. 発表件数 (申込件数 計 139 件)

(1) 口頭発表 124 件

第Ⅰ部門 応用力学, 構造工学, 鋼構造, 耐震工学, 地震工学, 風工学など…………… 18 件

第Ⅱ部門 水理学, 水文学, 河川工学, 水資源工学, 港湾工学, 海岸工学, 海洋工学, 環境水理
など…………… 31 件

第Ⅲ部門 土質力学, 基礎工学, 岩盤工学, 土木地質, 地盤環境工学など…………… 19 件

第Ⅳ部門 土木計画, 地域都市計画, 国土計画, 交通計画, 交通工学, 鉄道工学, 景観・デザイ
ン, 土木史, 測量など…………… 10 件

第Ⅴ部門 土木材料, 舗装工学, コンクリート工学, コンクリート構造など…………… 22 件

第Ⅵ部門 建設事業計画, 設計技術, 積算・契約・労務・調達, 施工技術, 環境影響対応技術,
維持・補修・保全技術, 建設マネジメントなど…………… 9 件

第Ⅶ部門 環境計画・管理, 環境システム, 用排水システム, 廃棄物, 環境保全, 土木教育など
…………… 15 件

(2) web 発表 15 件

4. 講演概要集等の web 掲載 今回から, CD-ROM を廃止し, web 上で発表原稿を閲覧する形式に変更
します (口頭発表も web 発表も同じ)。申込時の ID とパスワードで, 指定されたサイトよりロ
グインしていただきます。投稿いただいた発表原稿 PDF には, 個別の論文番号を各紙面に記載
します。なお, 旧 CD-ROM 内のデータファイル一式が必要な場合は, USB メモリを販売 (価格
2,000 円) しますので, 個別に, 四国支部事務局までお申し込みください。

5. フォーラム

(1) 日時：平成 28 年 5 月 28 日（土）13：10～14：50

(2) 場所：高知工科大学 C102 号教室

(3) テーマ：地方建設界（産官学）の未来図

(4) 趣旨

平成 26 年 5 月に日本創成会議が公表した「消滅可能性都市」と「ストップ少子化・地方元気戦略」の提言の影響は大きく、政府もこれを受けて「地方創生」や「まちひとしごと創生」といった政策を直ちに打ち出し、実行に移しつつある。これまで地域経済の枢要を担っていた地方の建設界（ここでは建設業のほか、インフラ整備と運営・維持にかかわる公的・民間機関、コンサルタント、教育・研究機関も加えた産官学全体を「建設界」と定義する）は、地方創生の実現に向け、“地方での暮らし方の提案”とそのために必要なインフラ整備、既存構造物の機能維持、防災といった多岐に渡る課題を、生産年齢人口減少という条件下で技術者・技能者の確保・育成を図りつつ解決する必要がある。

本フォーラムでは、今後も重要な役割を担うことになる地方建設界の課題の柱として、①新しいライフスタイルの創生、②防災・減災、③担い手の確保、の 3 本を据える。建設界各分野の方々にこれらの課題に対する現状認識やプランについて話題提供をいただき、あるべき姿について議論する。

(5) パネリスト

平田健一（高知県教育委員，公益財団法人高知県文教協会理事長，前高知工業高等学校長）

岡崎邦彦（高知県土木部公園下水道課・課長）

浜田兆成（株式会社西土佐建設 代表取締役）

高木方隆（高知工科大学）

渡邊法美（高知工科大学）

(6) コーディネーター：五艘隆志（高知工科大学）

(7) キーワード：地方の新しいライフスタイル，防災減災，担い手確保

なお、日程の詳細および発表プログラム等につきましては、決定次第順次、四国支部のホームページに掲載する予定です。四国支部 HP→ <http://www.jsce7.jp/>